

うみぼうやと うみぼうず



同時上演 まねまねパピプ

全力で生き、 全力で助け合う

元気すぎるがゆえに周りからはちょっと敬遠されているうみぼうや。

しかし、いざぼうやがピンチになると、周りの大人たちは全員が総出で助けに行きます。
大人たちも友達たちも、うみぼうやがいつも全力で生きているのを知っているからです。

困ったら助け合う。嬉しいことがあったら共に祝う。

ダメなことをしたら他の家の子でも叱る。

そんな、ひと昔前はあたりまえに溢れていた

“地域ぐるみで子育てをする” 世界観がこの作品には流れています。

「古き良き時代」…ではなく、「今、この良き時代」に

なれると信じて、この作品を作りました。

生命力溢れるうみぼうやの元気な冒険を、
素敵なお宝の音楽にのせて、ご覧ください。

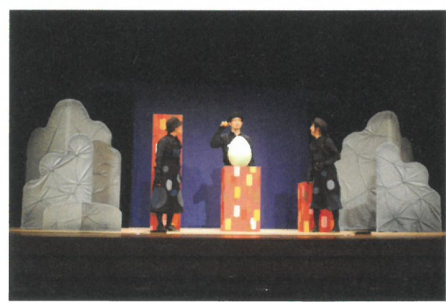
制作 小林洋介

アンケートより

- ・楽しく、たくさん笑い、心にグッとくるものがありました。子どもと「楽しかったね!」と感想を言い合い、帰宅してからもずーっと話が途切れることはありませんでした。(30 代女性)
- ・いろんなさかながぼうやをたすけるところが、かっこよかった。(5 才男の子)
- ・色んな表現がありよかった。子どもにあきのこない笑いも含まれていてほっこりしました。(30 代女性)
- ・3 人での息の合った舞台。海の中での笑いとお宝の親子の愛を感じました。(60 代女性)
- ・うみぼうやの手のびるところと、パピプのきょうだいがおもしろかったです。(4 才女の子)



舞台条件



- ☐ 人形劇 2 作品で 55 分の作品です。
- ☐ ゆうぎ室・多目的ホールなど小・中規模のフリースペース（平土間）。もしくは 300 人までのホール。
- ☐ 舞台空間として、幅 8m・奥行 5m・天井 3mが必要です。
- ☐ 上演時間とは別に、準備時間 2 時間 30 分・撤収時間 1 時間 30 分が必要です。
- ☐ 上演に必要な機材などはすべて劇団で用意いたします。

